
[成果情報名] 青色八重の手まり咲きアジサイ「筑紫の風」

[要約] アジサイ「筑紫の風」は、青色八重の手まり咲きで、装飾花のがく片数が多い。花色は底白の青色から鮮明な青色に変化し、満開後は秋色アジサイとなり、観賞期間は約半年と長い。

[キーワード] アジサイ、青色、手まり咲き、八重

[担当部署] 花き部・花きチーム

[連絡先] 092-922-4958

[対象作目] 花き・花木

[専門項目] 育種

[成果分類] 新技術

[背景・ねらい]

アジサイの八重・手まり咲き品種は、新しい花型で希少性があるため市場での評価が高く、これまでに赤色品種の「筑紫ルビー」、ピンク色品種の「筑紫の舞」を育成した(平成20年度後期成果情報)。市場での有利販売を行うためには、青色品種を育成し、カラーバリエーションを揃えることが求められている。

そこで、装飾花が青色八重の手まり咲き品種を育成する。

(要望機関名：久留米花卉園芸農協、久留米普、朝倉普 (H20 照会))

[成果の内容・特徴]

「筑紫の風」は平成19年に「ポージブーケ ケーシィ」を種子親とし、「城ヶ崎」由来の青色の一重・ガク咲きの場内保有系統を花粉親に用いて育成した。本品種の特徴は次のとおりである。

1. 花序は手まり咲きで、装飾花1花あたりのがく片数は「ポージブーケ ケーシィ」より多く、ボリューム感のある八重咲きである(図1、表1)。
2. 「筑紫の風」の開花初～中期の装飾花の花色は、周辺部が青・中心部が白の複色で、開花盛期には全体が青くなり、以後緑色から紫色に変化する秋色アジサイの特性を有し、観賞期間が約半年と長い(図2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 本県の育成品種として、平成24年8月21日に品種登録出願公表。

[具体的データ]



図1 「筑紫の風」の開花期の草姿



5月中旬

7月上旬

11月中旬

図2 「筑紫の風」の装飾花の花色変化

表1 「筑紫の風」の開花期の形質

品種名	花序	装飾花の 花色	樹高 cm	花序数	花序の大きさ		装飾花数	がく片数
					直径 cm	厚み cm		
筑紫の風	手まり咲き	明紫青	27.8	2.0	20.7	9.1	28.0	22
ポージブーケ ケーシィ	ガク咲き	紫青	32.3	3.0	19.6	6.9	8.0	13

- 注) 1. 耕種概要：平成21年6月12日挿し木、7月14日9cm径黒ポリポット鉢上げ、8月19日摘心、22年2月15日加温開始(夜間最低10℃)、2月25日12cm径プラスチックポット定植、3月2、23日ダミノジット8,000ppm処理、22年5月上旬開花。
 2. 栽培用土：青色発色用の慣行用土を使用。
 3. 装飾花の花色：JHSカラーチャートによる。

[その他]

研究課題名：種間交雑等によるアジサイの品種育成

予算区分：経常

研究期間：平成22年度(平成16～22年)

研究担当者：巢山拓郎、山田明日香、佐伯一直、谷川孝弘、中村知佐子、小賦幸一、松野孝敏、國武利浩